

甲29 ラエンネックを使用している他の病院への質疑回答をまとめた表

日付	病院名	医師名		注射の方法について	説明、インフォームドコンセントの有無	同意書を書かせるか	愛犬の症状
平成30年11月26日にミセチ タマカがラエンネックを乱暴に注射をした	被告病院 ペラブアペットケルヌツケ	ミセチ タマカ 副院長 担当		愛犬の尻に血管を探そうともせず腫れ上がるほどの強さで乱暴なやり方で二度みだりに打った。その際に飼い主に対して暴言、その場にいたアアケバヒレメリ獣医師が一部始終をただ見ている様子で制止しなかった。	説明、インフォームドコンセントの無 全くなし（さらに説明したと嘘をついた）	同意書を書かせるか 全くなし、無説明、無同意、無許可	愛犬の症状 いきなり注射を暴力的に刺し、再度みだりに刺し苦痛を与えた。以後、肝臓の数値が悪くなり全身状態が急激に悪化した。愛犬には1A=2CC投与されたが、この薬は人間に対し1A1回2mlが上限であるので人間の体重が約60kgとして愛犬の体重は8kgなので2mlは多すぎることがいえる。
令和元年5月	D病院	質問に応じた医師名 D院長	ラエンネックが特殊な方法か？	注射の方法について 通常の血管を探して消毒を行い痛さを感じさせないようにする方法	説明、インフォームドコンセントの有無 当然説明する	同意書を書かせるか 当然書いてもらう	愛犬の症状についての意見、説明 「普通は投与するとALP、ALTの値は下がるが、愛犬の場合は逆に上がっており、また注射部位が腫れたことからアレルギーの拒否反応によるショックが起こり、体内のいろいろなバランスが崩れたのではないかと（胆嚢内の異物の出現）」
令和元年5月	C病院	C院長		多くても1CC投与にしている（愛犬の場合は1A=2CC）	人用の薬であり犬に使用するので当然飼い主にそのリスクを説明し同意書も書いてもらう	書いてもらう	
令和元年7月21日	B病院	B 副院長（転院先の愛犬の主治医）			ラエンネックは使ったことがない		「ラエンネックが肝臓に効けばいいのかもしれないが、効かないと副作用で肝臓を痛めつけるジレンマがある薬である。ラエンネックの細粒（粒、粉の薬）はソフトなので悪影響が出て中止すればよいが注射となるとハードであり副作用を止められない。ラエンネックはこれまで使ったことがない。（愛犬は注射に対する抵抗力がなくA病院ではワクチン抗体検査をし抗体があるため免除、B病院では狂犬病注射を免除されている）」 「普通は下がるべき肝臓の数値はその後の愛犬の肝臓の数値が極度に上がっているのでは何かのウイルスか菌が異物か別のものが投与された可能性が高い、慎重にやるべきである。」
令和二年5月12日14時	E病院	E獣医師	人用に認可されたもので安全である、この薬は特殊な薬であり一般的な治療ではない	投与量は犬の体格や病状によって微量から複数回に分ける	当然説明はする。		「ラエンネックでの副作用ではなくアレルギー反応だろう。タンパク質を入れるのでアレルギーが起きやすい。ラエンネックでALT、GPTが上がったことはこれまでにない。ポブは肝不全までは行ってないのではないかと。タンパク質が入り肝臓が解毒作用をしているから数値が上がっているのではないかと。」
	F病院	■■■■先生	人用であるが、犬によって合う合わないがあり、投与してみないとわからない。この薬は特殊な薬であり一般的な治療ではない	投与量は犬の体格や病状によって微量から複数回に分ける	当然説明はする、副作用や術後の様子を見せてもらう。オプション的な薬であり積極的には使わない。		「体質により合う合わないがある、アレルギー反応ではないか。普通投与したら下がるのに肝酵素の上昇というのは胆嚢に焦点を宛てた治療が先なのではないか。」
	ラエンネックの体験犬の飼い主のブロガーの方の犬 [甲32]			0.1CCを数週間おきに分けて接種			